

第2回小千谷リビングラボ（仮称）

新図書館等複合施設整備事業について

令和3年5月8日(土)

小千谷市建設課 都市整備室

目 的



平成29年3月

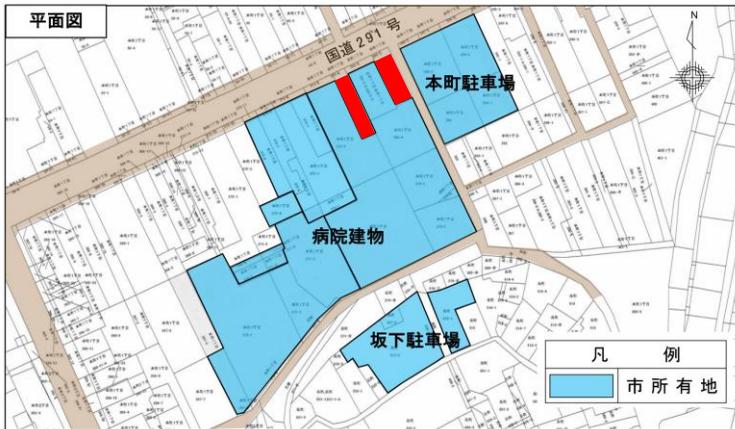
公益財団法人小千谷総合病院 統合移転に伴い閉院



平成29年6月 旧小千谷総合病院跡地整備計画

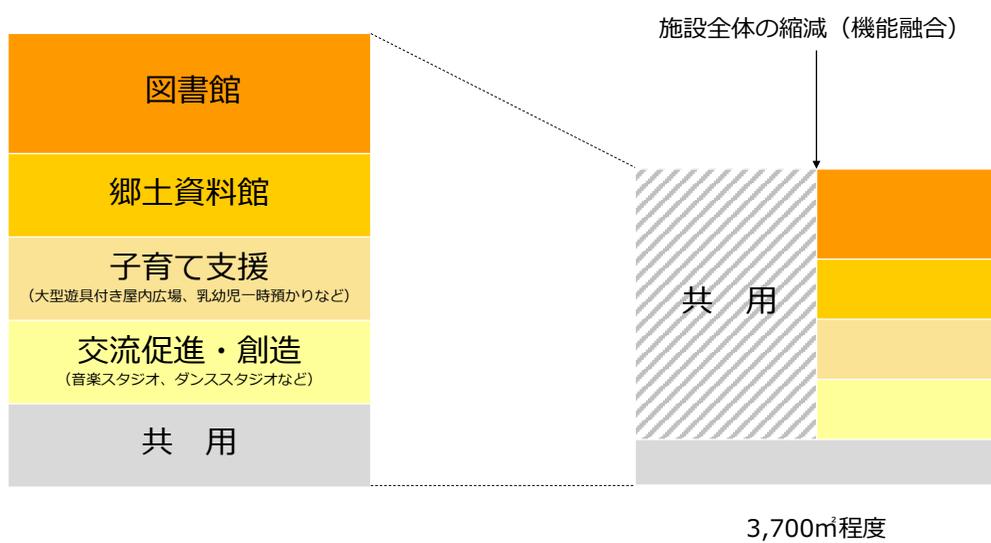
「賑わい・交流・憩いの創出」を基本方針として、
図書館を核とした複合施設を整備し、中心市街地の活性化を図る

建設地



病院建物敷地	5,979.51㎡
本町駐車場	1,347.22㎡
坂下駐車場	1,206.92㎡
新規取得地	1,151.80㎡
合計	9,685.45㎡

施設機能



今後のスケジュール



株式会社 平田晃久建築設計事務所

※敬称略

平田 晃久

建築家／京都大学教授。平成17（2005）年の事務所設立以来、岩手から熊本まで日本各地や海外で様々な公共建築の設計を手がける。新潟県内では処女作でありJIA（公益社団法人 日本建築家協会）新人賞を受賞した「榎屋本店」（上越市）など複数の建築を設計。村野藤吾賞やBCS（一般社団法人 日本建設業連合会）賞を受賞した代表作「太田市美術館・図書館」は市民との設計ワークショップを活かした生命感ある空間で知られる。

協力事務所

情報環境（企画）担当として、見附市にて市民と駅前開発事業を行う国際開発コンサルタンツ、構造設備担当として、世界的コンサルタントのARUP（オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド）が業務を担う。

大事な視点①

単なる施設づくりではなく、エリアの価値を高めること

大事な視点②

日常生活を支える場となり、より良い暮らしにつながること

大事な視点③

市民と行政が対等な関係で対話しながら一緒に考えていくこと

大事な視点④

図書館が日常生活を支える大事な役割を担うこと